



令和5年5/18椎内会場・5/19枝幸会場

主体性とは何か

北海道教育大学旭川校 芳賀 均

「理想の授業」は、どんな授業・・・？

「教師にとって成功したことを表す最も良い姿は、子どもたちが教師があたかもいないような状況で物事に取り組んでいることです」…モンテッソーリ

学力とは？

それは、子どもたちにとっても、「理想の授業」・・・？

そもそも

それは、子どもたちにとって、
本当に必要なこと・・・？

知識とは？

例年、各地域でテーマになること、ささやかれること

- 複式2学年分の授業準備が2倍
- ICTの活用の割合、ICTの効果的な使い方
- 一人学年の学習の進め方や多様な考え
- 間接指導時の適切な指示
- 一人学年の学習意欲の向上と集団での学び
- 学力差がある中での複式学級の運営
- 学習規律と豊かな生活体験

学校での お勉強は・・・、

将来のため、ではなく、今のため！

今、まさに役立っている。今、まさに楽しい！

当事者の現在と未来の生活をどれほど豊かにするかという視点

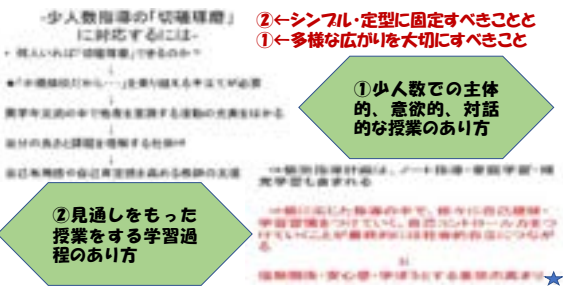
楽しさを「手段」にするのではなく、「目的」にすること

楽しいことは、最も大切。主体的に学ぶ態度の源泉

※消費的な娯楽ではなく、生産的で創造的な楽しさであること

発達した能力の**現実的な展開・具体的な発揮**→生活への価値

例年、テーマになること、ささやかれること



学校での お勉強は・・・、

将来のため、ではなく、今のため！

- その子がどのような世界観をもち、周囲の世界をどのように見ているかを想像すること
- その子が実感していることをリアルに想像すること
- ・・・教師の「自身の色眼鏡」の自覚
- それが出発点（自身の価値観と向き合うこと）

楽しみの源泉

※消費的な娯楽ではなく、生産的で創造的な楽しさであること

発達した能力の**現実的な展開・具体的な発揮**→生活への価値

ご提示いただいた「ポイント」について検討してみましょう

- ①少人数での主体的、意欲的、対話的な授業のあり方（学習リーダーの育成含む）、
②見通しをもった授業をする学習過程のあり方（わたり、ずらし/学力差が大きい場合など含む）
- 対話的** 話し合えばいいの？ 何を考えれば、話し合えばいいの？
意欲的 もっとやる気を出せ！といえばやる気になるの？ やりたい！とは
主体的（後述します） 主体性って、そもそも何なのだろう？ 子どもの？ 教師の？
学習リーダー なぜリーダーなんか必要なの？ がんばらなければいいことあるの？
見通し 結末の分かる学習って意味があるの？ 何についての見通し？
わたり・ずらし 機械的にやるべきか、小まわりのように柔軟にやるべきか？
学力差が大きい 学力差がなければ授業はうまくいくか？ みんな違っていいのでは？

ご提示いただいた「ポイント」について検討してみましょう

- ①少人数での主体的、意欲的、対話的な授業のあり方（学習リーダーの育成含む）、
②見通しをもった授業をする学習過程のあり方（わたり、ずらし/学力差が大きい場合など含む）
- 対話的** 話し合えばいいの？ 何を考えれば、話し合えばいいの？
意欲的 もっとやる気を出せ！といえばやる気になるの？ やりたい！とは
主体的（後述します） 主体性とは何か？ 子どもの？ 教師の？
学習リーダー **・主体性とは「積極性」と「自立性」**
見通し 結末の分かる学習って意味があるの？ 何についての見通し？
わたり・ずらし 機械的にやるべきか、小まわりのように柔軟にやるべきか？
学力差が大きい 学力差がなければ授業はうまくいくか？ みんな違っていいのでは？

ご提示いただいた「ポイント」について検討してみましょう

- ①少人数での主体的、意欲的、対話的な授業のあり方（学習リーダーの育成含む）、
②見通しをもった授業をする学習過程のあり方（わたり、ずらし/学力差が大きい場合など含む）
- 対話的** 話し合えばいいの？ **思考とは何か？**、話し合えばいいの？
意欲的 もっとやる気を出せ！といえばやる気になるの？ やりたい！とは
主体的（後述します） 主体性って、そもそも何なのだろう？ 子どもの？ 教師の？
学習リーダー **・何を話せばいいの？**
見通し **・【学習する】とは「分ける」こと！**
わたり・ずらし **・先生と子どもたちとで、普段から対話**
学力差が大きい 学力差がなければ授業はうまくいくか？ みんな違っていいのでは？
- ※松尾重「超AI入門」

- 全員参加型の授業づくり**
—— **みんなでひとりを支えても個別指導になる**
(個々の能力が引き出される＝個別指導と同じ効果)
- 全員の発言や発表が授業に組み込まれている**
例) 肝余曲折が全部まとめに入っている
- 活動内容がよく見えれば、的確な指導を意図的に行える**
例) 今やっていることが先生が一目で判る
- 子どものコミュニケーション力の向上が思考力向上に**
例) 様々な角度の挙手
- 建設的な批判・意見を出せる雰囲気を作る** **「積極性」と「自立性」**

ご提示いただいた「ポイント」について検討してみましょう

- ①少人数での主体的、意欲的、対話的な授業のあり方（学習リーダーの育成含む）、
②見通しをもった授業をする学習過程のあり方（わたり、ずらし/学力差が大きい場合など含む）
- 対話的** 話し合えばいいの？ 何を考えれば、話し合えばいいの？
意欲的 **・やる気の原因力は何か？** やりたい！とは
主体的（後述します） 主体性って、そもそも何なのだろう？ 子どもの？ 教師の？
学習リーダー **・やりたいと思えることでどうでどんなこと** がんばらなければいいことあるの？
見通し 結末の分かる学習って意味があるの？ 何についての見通し？
わたり・ずらし 機械的にやるべきか、小まわりのように柔軟にやるべきか？
学力差が大きい 学力差がなければ授業はうまくいくか？ みんな違っていいのでは？

- 全員参加型の授業づくり**
—— **みんなでひとりを支えても個別指導になる**
(個々の能力が引き出される＝個別指導と同じ効果)
- 学びの動機付け** **【感情が動く働きかけ】**
学習方法の工夫 **【聴覚・視覚への工夫】**
行動や発言を引き出す **【表出のさせ方の工夫】**
- 建設的な批判・意見を出せる雰囲気を作る** **「積極性」と「自立性」**

ご提示いただいた「ポイント」について検討してみましょう

①少人数での主体的、意欲的、対話的な授業のあり方（学習リーダーの育成含む）、
②見直しをもった授業をする学習過程のあり方（わたり、ずらし/学力差が大きい場合など含む）

対話的 話し合えばいいの？ 何を言えば、話し合えばいいの？
意欲的 もっとやる気を出せ！といえはやる気になるの？ やりたい！とは
主体的（後述します） 主体性って、そもそも何なのだろう？ 子どもの？ 先生の？
学習リーダー ・「仕切る人」？、「教える人」？
..... ・（例：合唱のパートリーダーは？）
..... 結果の分かる学習って出来るの？ 何についての見直し？
わたり、ずらし 機械的にやるべきか、小躍りのように自然にやるべきか？
学力差が大きい 学力差がなければ授業はうまくいくか？ みんな違っていいのでは？

リーダー学習

ハき研のテキストより

① 学習リーダーの育成と役割
学習者の成長を促す「学習リーダー」を通して、学習効果を高める。

② 学習リーダーの育成と役割
学習者の成長を促す「学習リーダー」を通して、学習効果を高める。

③ 学習リーダーの育成と役割
学習者の成長を促す「学習リーダー」を通して、学習効果を高める。

ガイド学習

① ガイド学習の意義
学習者の成長を促す「ガイド」を通して、学習効果を高める。

② ガイド学習の意義
学習者の成長を促す「ガイド」を通して、学習効果を高める。

③ ガイド学習の意義
学習者の成長を促す「ガイド」を通して、学習効果を高める。

学習内容
より
まとめ役

ハき研のテキストより

リーダー学習

（※これらについては、具体例に關係することを詳しく後述します）

① リーダー学習の意義
学習者の成長を促す「リーダー」を通して、学習効果を高める。

② リーダー学習の意義
学習者の成長を促す「リーダー」を通して、学習効果を高める。

③ リーダー学習の意義
学習者の成長を促す「リーダー」を通して、学習効果を高める。

学習内容
より
まとめ役

ハき研のテキストより

ガイド学習

ハき研のテキストより

① ガイド学習の意義
学習者の成長を促す「ガイド」を通して、学習効果を高める。

② ガイド学習の意義
学習者の成長を促す「ガイド」を通して、学習効果を高める。

③ ガイド学習の意義
学習者の成長を促す「ガイド」を通して、学習効果を高める。

ご提示いただいた「ポイント」について検討してみましょう

①少人数での主体的、意欲的、対話的な授業のあり方（学習リーダーの育成含む）、
②見直しをもった授業をする学習過程のあり方（わたり、ずらし/学力差が大きい場合など含む）

対話的 話し合えばいいの？ 何を言えば、話し合えばいいの？
意欲的 もっとやる気を出せ！といえはやる気になるの？ やりたい！とは
主体的（後述します） 主体性って、そもそも何なのだろう？ 子どもの？ 先生の？
学習リーダー ・何の見直し？ お勉強の内容？
..... ・学び方、学習のパターン
..... 方法の見直し、何についての見直し？
わたり、ずらし 機械的にやるべきか、小躍りのように自然にやるべきか？
学力差が大きい 学力差がなければ授業はうまくいくか？ みんな違っていいのでは？

そもそも「学習」とは何か？
人間自身がやるということの意味は？

① 少人数での主体的、意欲的、対話的な授業のあり方（学習リーダーの育成含む）、② 見通しをもった授業をする学習過程のあり方（わたり、ずらし/学力差が大きい場合など含む）

- ・辞書、辞典、資料集やウェブ..未知のこと等
- ・過去のノート、教科書..等既知の内容の確認や積み重ね等

「間違いは宝」を本当に実践する工夫を。

間違っ子の気持ち、状況、事情が分かるというのが本当の理解

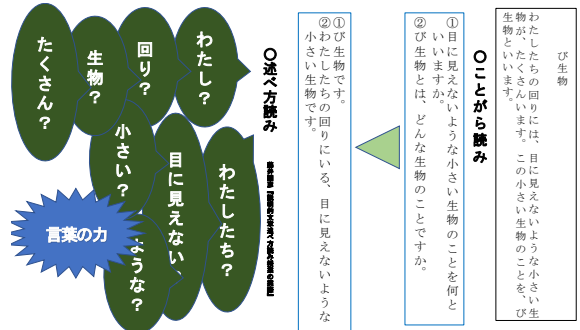
なぜ子どもは学びを諦めるのか

- ・自力解決にこだわらずでている
- ・他の学びが保障されていない
- ・教師が良くおしゃべりする
- ・課題(問題)が難しすぎる
- ・教師に子どもが遠慮している

- ・競争を強いても学力は上がらない
- ・最も経済効果が高い「成功」の方法は、問題を難しくして、競争相手の脱落をすること
- ・一人では成し遂げられない大きな仕事を、どうやって共同的に成し遂げるか
- ・「自分にはできない」とを認める
- ・「自分に行わなくてはいけない」と認める

「分からない」をごまかさないこと
→自分を大切にすること→自立
→ストップの要求「分かりません」
→「分かったことは何か」

間違いはできるだけしない
ほうがいい→間違いを助める
「どうすると、その間違い
が起きる？」



①少人数での主体的、意欲的、対話的な授業のあり方（学習リーダーの育成含む）

授業の現象の見直し

- ・分かったことの報告→分からないことの共有へ
- ・解き方や正解の確認→分かり方の違いの共有と相互納得へ
- ・知識の蓄積としての教科内容理解
- 他者理解の森を通った先の教科内容理解へ

授業の方法の見直し

- ・意見をまとめる→用語や言葉を共有しつつ自分の意見を語る
- ・議論する、とにかく話し合う
- 聴いているだけでも学びになる。具体的操作や試行錯誤
- ・分かる子どもが分からない子どもに教える
- 自分とは異なる考え方、分かり方、働き方を知る

②見通しをもった授業をする学習過程のあり方（わたり、ずらし/学力差が大きい場合など含む）

間接指導時の話し合いルール

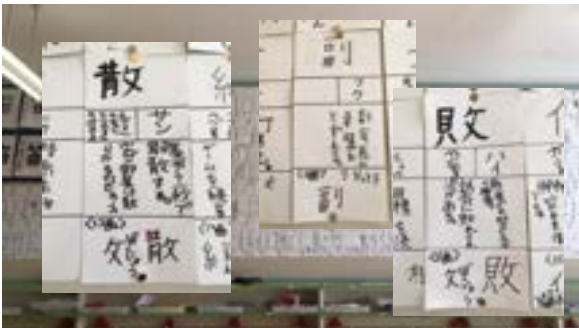
- ・討論内容の選択、挙手等の発言方法、話の聴き方、司会進行の手順、等

教え合い・伝え合いのルール

- ・「説明してください」「答え合わせをしよう」等、分かった子も説明することで、さらに自分が理解できるように

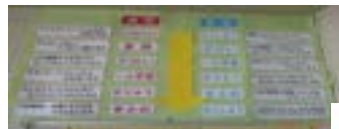
間接指導時の子どもたちだけで進めるルール

- ・黙読、音読、等の多様な読み方や、調べ活動、まとめや発表の方法、等のメニューを整理して掲示…選択と実行を子どもたちが



②見通しをもった授業をする学習過程のあり方（わたり、ずらし/学力差が大きい場合など含む）

掲示する



異学年への発表をセット

- ・緊張感の確保
- ・発表の工夫の必要性
- ・上の学年の指導力の活用

子どもたちも展開を知っていて進める

- ・「型」は、だから重要

同時間接指導の場面の活用

- ・指導や展開づくりに余裕が生じる

学年別指導における学習過程

学年	指導の仕方	学習過程
1学年	指導の仕方	学習過程
2学年	指導の仕方	学習過程
3学年	指導の仕方	学習過程
4学年	指導の仕方	学習過程
5学年	指導の仕方	学習過程
6学年	指導の仕方	学習過程

- 一人学年の学びの充実⇨関係にわたる前の直
接指導を丁寧に
- 時間の効率化⇨児童学習時の子どもの学習を
板書にいかす工夫
- 教師が他学年にわたっていても、ホワイトボード
の文字が見える大きさ
- 「まとめ」⇨子どもたちと一緒にまとめるをどうする
かを提示

- ・広がる課題・自己内対話の起きる投げかけ(もし○○だったら～)
- ・内容のまとめだけではない、やったことのまとめ
- ・ホワイトボードやクリップボードの活用
- ・紙や模造紙⇨ぶら下げて毎回振り返れるように
⇨学んだことは資源・学習のパターンも身につく

プリントのファイル化

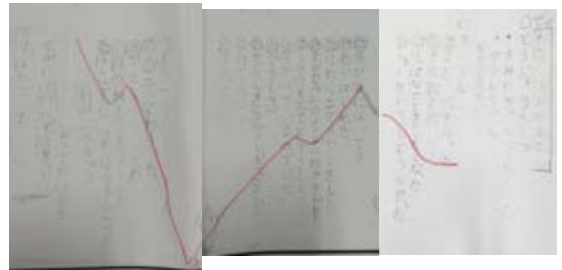
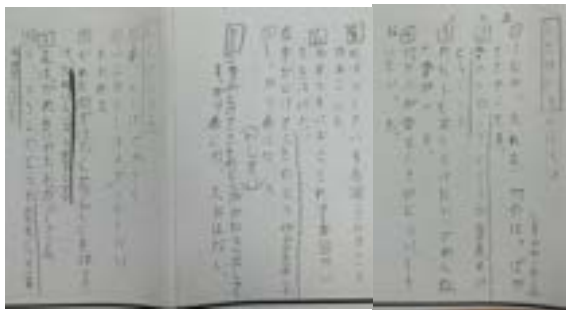
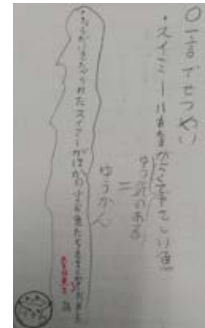
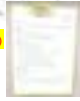
先生からもらったプリントをファイル化し、学習の
記録がわかるよう整理しています。

学習ルール

がんばりんやばんやあってもいい。集中力や集中に
ててお話を聞かせる。保護者に連絡を待つ。授業の
録画も、その後の学習活動や学習記録につなが
っている。

南無の仕方

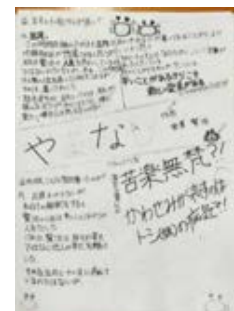
スローペースで学習シートスローペースは親の会や
録画の場などで、みんなの前で読みせる。





④	③	②	①	⑥	⑤	⑦
あと話	まとめ	内容 2	内容 1	はじめ	題名	キーワード
						事実
						心情

作文・学習内容の理解の万全フオーマツト





- ・理解の仕組みに沿った「丸つけ」
- ・合理的に力が付く

評価法

合理的

「金メダル」

「銀メダル」

「銅メダル」

「かっこいい・バッチリ」「実用上問題ない」「読める・ワープロは打てる」



「積極性」と「自立性」が高まる工夫を具体的に！

学級内の図書コーナー

結局、これらは、評価の問題

※評価は大切といいながら、大学でも、その方法の講座がありません

- 辞典を引いて、本を読んだときにわからない言葉があれば辞典を引かせて調べる活動を取り入れている→ 付属の活用
- 学んだポイント、調べたところに付箋をつけて達成感を持たせる。
- 定学力や学習力の基盤につながる。 その付箋

個人用でも
共用でも

付箋を
いくつ
つけた？

その付箋を活用して
ゲームや学習を開発
しよう！

個人スコア→通信簿の所見
学級スコア→みんなの楽しみ



令和5年5/18稚内会場・5/19枝幸会場

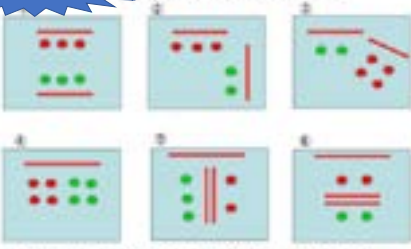
主体性とは何か

ご清聴ありがとうございました

北海道教育大学旭川校 芳賀 均

参考

黒板の配置の工夫



※黒板と児童の配置の仕方により、それぞれどのような書画があらわされるか。

情報提供：動画・書籍

総合的なふるさと教育



宗谷

宗谷